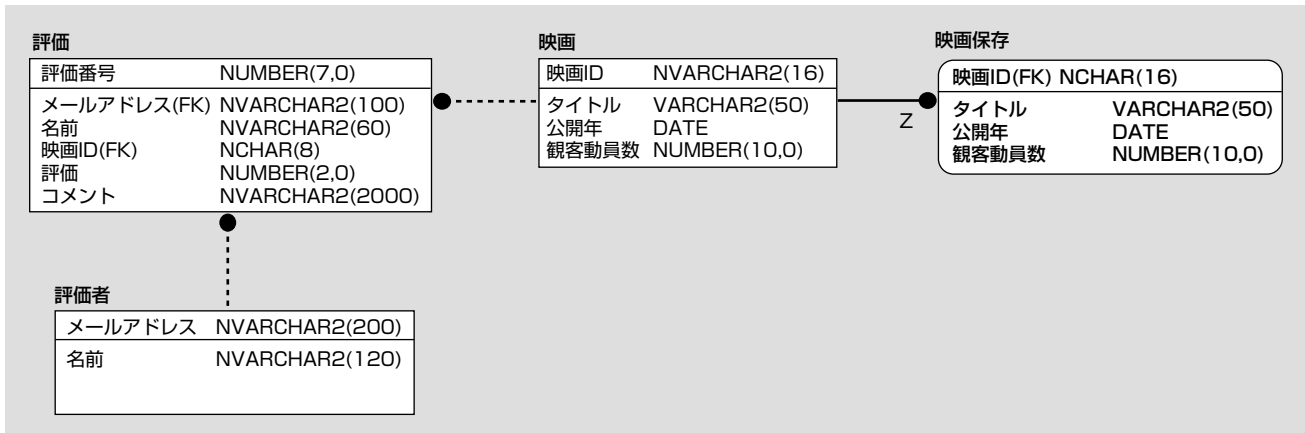


図1：今回の実技で使用する表のER図



*) 図1中の「Z」は0か1を意味します。つまり「1対n」のnが0か1になるということです。

ルを設定したがる傾向があるようです。

しかし、現実には100も200もある列の中から2列だけ取り出すのに「*」を使うようなプログラマはいません。「*」を使うのは、次のSQL文のように全列取得してバックアップ表（このSQL文では表「映画保存」がバックアップ表に相当）に挿入するケースなどです。このような使い方ではパフォーマンスに大きな違いは出ません。

全列を別のテーブルに挿入

```

insert into 映画保存
select * from 映画
where 公開年 < '2001/01/01';
    
```

筆者自身は、生産性／メンテナンス性を優先して考えるようにしています。たとえば、上記のSQL文であれば後で表「映画保存」の列を追加／削除した場合でもプログラムを修正する必要はありません。

しかし、同じinsert into文でも列定義を別の表に出力するような場合は、列名を明示的に指定しなければなりません。一概にみんなが言っているから

リスト1：アスタリスクで全列指定

```
SQL> select * from 映画;
```

映画ID	タイトル	公開年	観客動員数
F001	ロード・オブ・ザ・リング	01-01-01	2000000
F002	さまよう魂たち	96-01-01	500000
F003	マーズアタック!	96-01-01	1000000
F006	春の日は過ぎゆく	02-01-01	200000
F007	100%の愛を	99-01-01	1500000
F008	君の瞳は100万ボルト	89-01-01	1200000
F009	ひまわりのぬり絵	00-07-01	100000
F010	ギャング・オブ・ニューヨーク		
F011	ジョンQ		0
F012	ボーン・アイデンティティ	03-01-25	0
F004	ハッシュ	02-01-01	300000

11行が選択されました。

“[*] 禁止”というのではなく、柔軟に考えて方針を決定するようにしてください。

範囲検索 (between)

先ほどの「全列を別のテーブルに挿入」のSQL文では、比較演算子「列名 < A」を使っていますが、範囲指定の場合は次のSQL文のようにbetween句がよく使われます。

列名 between A and B

between句による範囲指定

```

SQL> select * from 映画
where 公開年
between '2001/01/01'
and '2001/12/31';
    
```

映画ID	タイトル	公開年	観客動員数
F001	ロード・オブ・ザ・リング	01-01-01	2000000

between句は、Oracleの解析処理で結局、

列名 >= A and 列名 <= B